

竹田市宮城地区・城原地区

温泉施設を拠点とした地域コミュニティの強化

地区の概要

所在地：竹田市宮城・城原
世帯数：746世帯
高齢化率：55%

構成集落数：35集落
人 □：1,593人

平成29年4月時点

取組のきっかけ

竹田市では、市民が主役の支え合う仕組みづくり構築のため、市内を旧中学校区単位の7つの地域に分け、暮らしのサポートセンター設立を行った。

城原・宮城地区には、暮らしのサポートセンター双城を立ち上げて寄り合い事業等を行おうとしていた。宮城地区の温泉施設「出会いの湯」は、住民の高齢化等により利用が減少していた。そこで、暮らしのサポートセンターの生活支援サービスのノウハウと出会いの湯の施設特性を併せ、温泉に浸かって、心と体の健康を推進する送迎サービス付きの寄り合い温泉事業を開始することとした。

地域課題解決の取組イメージ

暮らしのサポートセンター竹田北部「双城」

- 活動会員を募集
 - ・送迎ボランティア
 - ・有償生活支援サービス
- 「寄り合いの場」を設置
 - ・宮城地区にある「出会いの湯」を活用
- 利用会員の募集
 - ・年会費あり
 - ・利用によって有料あり

寄り合いの場



活動を支援

※暮らしのサポートセンターは、サポーター竹田市内に7ヶ所設置されている。

温泉施設「出会いの湯」



送迎ボランティア



暮らしのサポートセンター竹田北部「双城」

活動拠点 竹田市大字米納1050-1

施設概要 竹田市双城高齢者コミュニティセンター（旧北部幼稚園）

主な取組

- ①高齢者等の有償生活支援サービス（食事、掃除、外出、留守番など困り事）
- ②「寄り合い場」づくり（温泉施設「出会いの湯」など活用）
- ③健康教室、調理教室、レクレーション
- ④ちょこっと販売（農産物、小物）
- ⑤地域活動支援 など



取組の検討・実施

【温泉施設（出会いの湯）を活用した「よりあい温泉」の開催】

- ・定期的な開催（週3回）で、利用者が拡大。地域交流が進みはじめた。
- ・よりあい温泉開催時に各種製作活動も実施するなど活動が活発化した。



地域の声

- ・こんな機会があれば、他地区の人と話ができるし、いろいろ知ることができる。
- ・温泉で温まり、お茶もいただき、大変くつろぐことができました。

今後の方針

- ・温泉施設（出会いの湯）での各種「寄り合い活動」を通じ、地域交流の促進を図る。
- ・男性が参加しやすい仕掛けを取り入れながらコミュニティ強化を図る。